平成 29 年度　横浜市鶴見一丁目地区
防災公園街区整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

なま　むぎ　はち　まん　まえ　い　せき

生 麦 八 幡 前 遺 跡

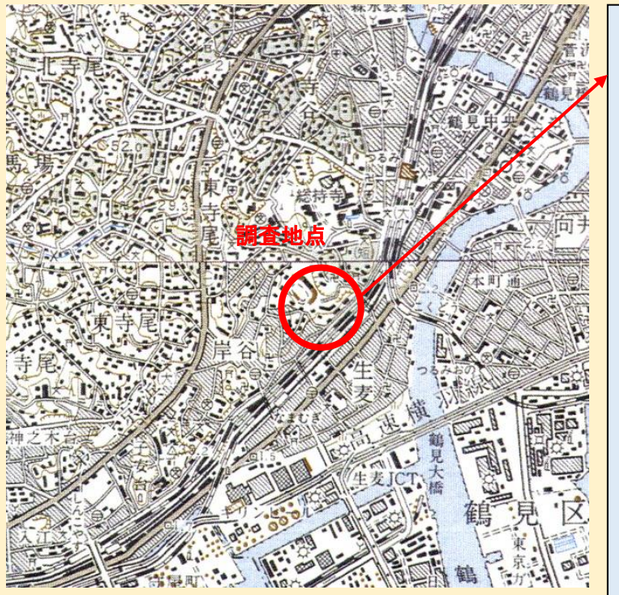
主　催　公益財団法人かながわ考古学財団
協　力　独立行政法人都市再生機構 東日本都市再生本部

生麦八幡前遺跡は、独立行政法人都市再生機構が進めている横浜市鶴見区の「花月園競輪場跡地、防災公園街区整備事業」に伴う事前の発掘調査として、平成 28 年 12 月 16 日から発掘調査を実施しています。

同遺跡は、蛇行しながら南行して海に注ぐ鶴見川最下流の右岸にあたり、鶴見川と西側を南行する入江川に挟まれた、東京湾に面した台地上に位置します。ここは、京浜急行線花月園前駅の西 0.2km、鶴見川右岸から 0.5km の台地上にあたります。駅のある沖積低地から遺跡のある面までの比高差は約 30mあります。

今回の調査地点は、近年まで花月園競輪場や民間企業の社宅等が所在していた範囲にあたり、多くの部分が撹乱により壊されていました。南側の5,070㎡を１区とし、北側の210㎡を２区として調査を行っています。

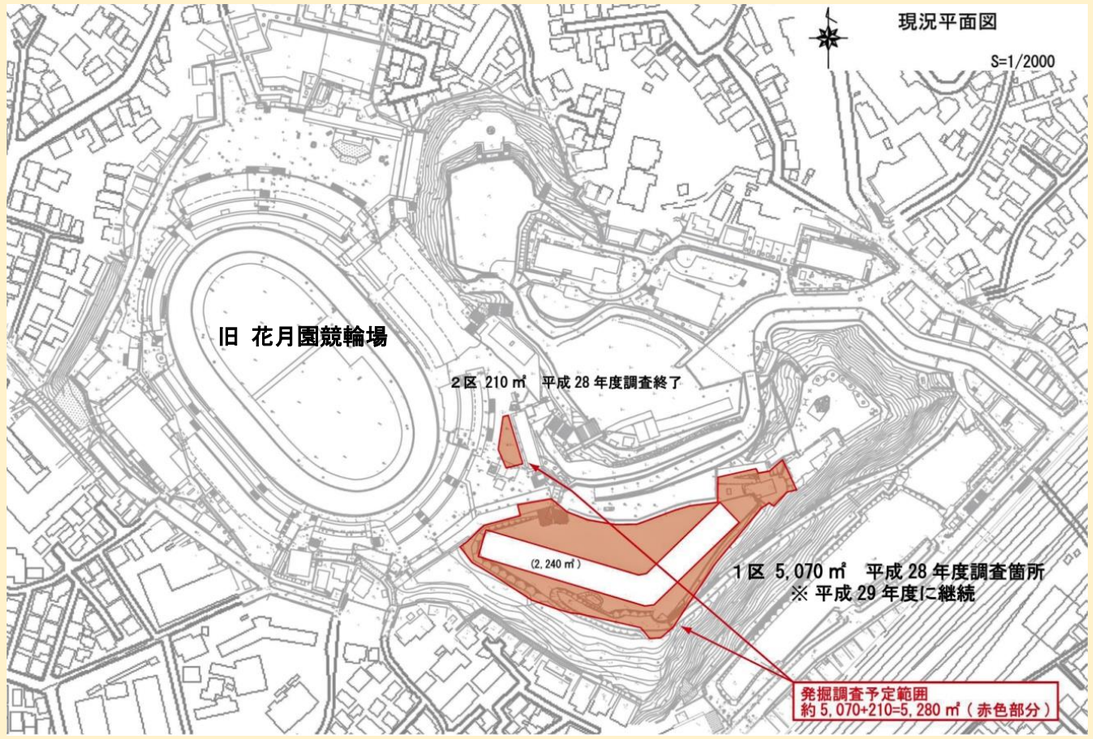
この遺跡からは、弥生時代から古墳時代にかけての竪穴住居や縄文時代中期の竪穴住居が確認されています。竪穴住居の中からは多くの土器や石器が出土していて、当時の人々の生活の一端を知ることができます。



※　生麦八幡前遺跡は、旧花月園遊園地、花月園競輪場、民間企業の社宅等が建設されていました。

花月園遊園地の歴史

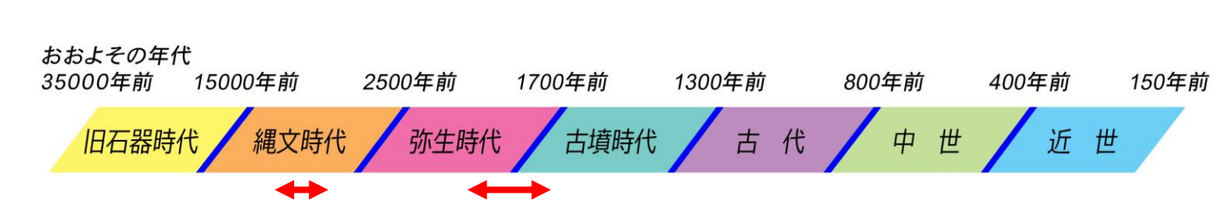
1914(大正３)年に平岡廣高氏によって開園されました。動物園、噴水、花壇、ブランコ、豆汽車等のアトラクションがおかれ「東洋一の遊園地」と呼ばれました。場内のダンスホールは谷崎潤一郎の「痴人の愛」の舞台とされています。当時は、花月園少女歌劇団がおかれ『西の宝塚・東の花月園』と言われていました。昭和の初め頃より徐々に人気は衰えていき、1946(昭和 21)年 11 月に閉園となり、1950(昭和 25)年６月跡地に花月園競輪場が開設されました。その後、競輪場も 2010(平成 22)年３月で廃止となりました



生麦八幡前遺跡　調査区設定図

確認された遺構
　弥生時代～古墳時代：竪穴住居、溝状遺構、土坑、ピット
　縄文時代：竪穴住居
確認された遺物
　弥生時代～古墳時代：土器、石器
　縄文時代：土器、石器

竪穴住居の調査と包含層掘削の状況



※矢印は、今回の調査で発見された遺構や遺物のおおよその時期を示したものです。
※この内容は調査段階のものであり、今後の調査成果や出土品等整理などにより評価を変える場合があります。

発掘調査で発見された遺構と遺物

発掘調査では、弥生時代から古墳時代の竪穴住居や縄文時代の竪穴住居とそれに伴う土器が出土しています。
※Ｙは弥生時代から古墳時代の遺構、Ｊは縄文時代の遺構を表します。

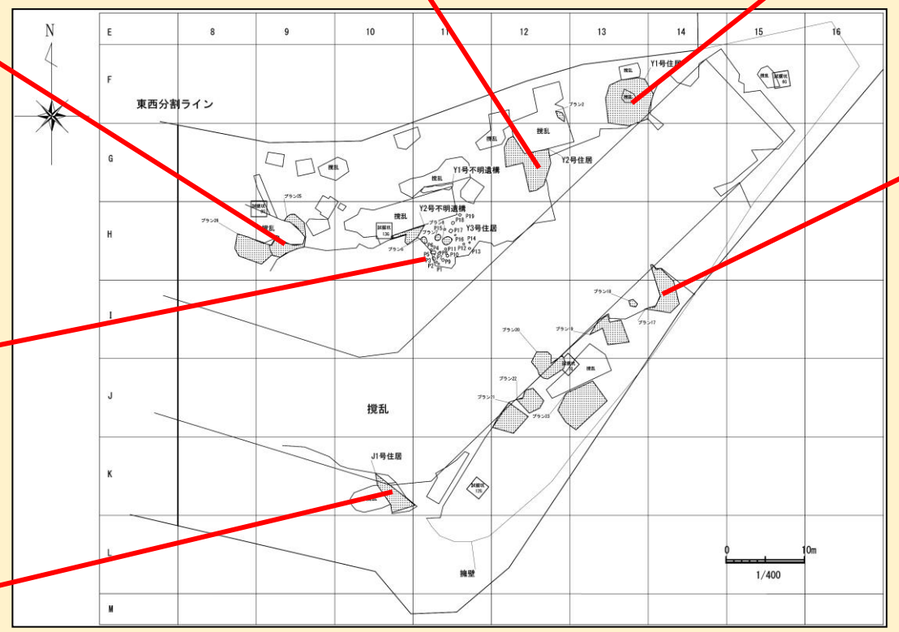
Ｙ６号竪穴住居完掘状況

Ｙ２号竪穴住居焼土面確認状況

Ｙ２号竪穴住居遺物出土状況

Ｙ１号竪穴住居完掘状況

Ｙ３号竪穴住居遺物出土状況



Ｙ９号竪穴住居完掘状況

Ｙ９号竪穴住居遺物出土状況

Ｊ１号竪穴住居完掘状況

Ｊ１号竪穴住居遺物出土状況

考古学財団

文化庁
AGENCY FOR CULTURAL AFFAIRS
地域の特性を活かした
史跡等総合活用推進事業

横浜市鶴見一丁目地区防災公園街区整備事業
生麦八幡前遺跡（横浜市鶴見区No.112 遺跡）見学会
2017（平成 29）年６月３日
公益財団法人かながわ考古学財団　〒232-0033　横浜市南区中村町 3-191-1
TEL：045-252-8689　FAX：045-261-8162　HP：http://kaf.or.jp